

都市再生整備計画（鶴田地区）事後評価の概要

（１）計画概要

【地区名】鶴田地区
 【面積】129.1ヘクタール
 【交付期間】平成21年度～平成25年度
 【交付対象事業費】約32億円（国費率40.0%）
 【区域】鶴田町

（２）まちづくりの目標

【大目標】
 人々にやさしく 安心・安全で快適なまちづくり

【小目標】

- 道路網整備を推進することで、人々が日常的に利用する生活道路の安全性及び利便性を向上させ、暮らしやすい道路環境を確保する。
- 総合的な面整備を推進することで、計画的・効率的な土地利用を推進すると共に、快適な生活環境を確保する。
- 街区公園整備を推進することで、防災空間を確保すると共に、災害に際し、地域住民の一時的な避難場所としての利用が可能となることで、地域の防災性の向上を図る。

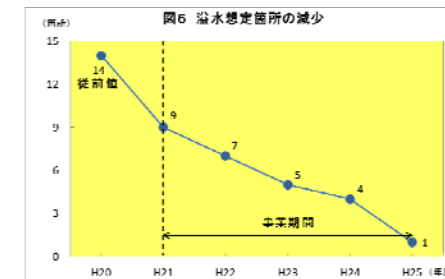
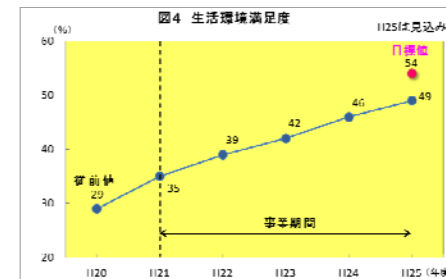
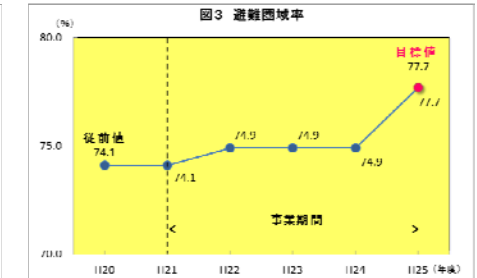
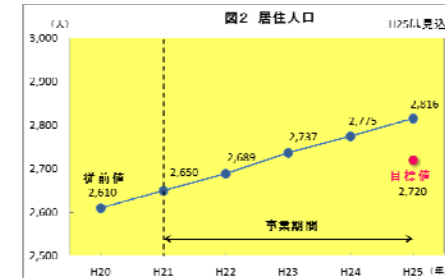
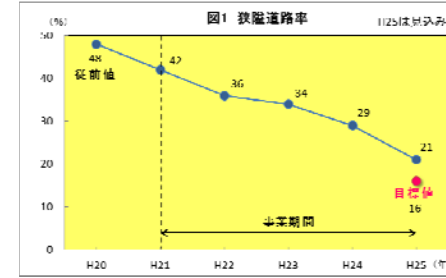
（３）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
①狭隘道路率	%	48 (H20)	16 (H25)	21 (H25)	土地区画整理事業において、一部建物移転が遅延したことで、狭隘道路を解消する道路整備が進まず、事後評価の時点では数値目標に至らなかった。
②居住人口	人	2,610 (H20)	2,720 (H25)	2,816 (H25)	土地区画整理事業による基盤整備に伴い、住環境が向上し、居住人口が増加した。
③避難圏域率	%	74.1 (H20)	77.7 (H25)	77.7 (H25)	街区公園整備により、避難圏域が拡大し、地域の防災性が向上した。
④生活環境満足度	%	29 (H20)	54 (H25)	49 (H25)	土地区画整理事業において、一部建物移転や道路整備が遅延したことで、事後評価の時点では数値目標に至らなかった。
⑤溢水想定箇所の減少	箇所	14 (H20)	-	1 (H25)	土地区画整理事業の進捗により、水路が整備され、排水状況が改善し、良好な生活環境が構築された。

注) ⑤は、当初設定した数値目標以外の指標

（４）実施課程の評価

【モニタリング】実施なし
 【住民参加プロセス】公園整備計画の策定過程におけるワークショップの開催
 【持続的なまちづくり体制の構築】地域住民との直接の対話を通じたまちづくりに対する意識の向上



（５）まちの課題の変化

- 土地区画整理事業による区画道路や歩行者専用道路の整備により、狭隘道路や行き止まり道路の解消と歩行者空間の確保が図られたが、まだ狭隘道路の未整備のエリアが残っており、今後も引き続き、整備を進めていく必要がある。
- 地区内の避難場所（防災空間）として位置付けられている街区公園が整備されたことにより、災害に強い都市基盤づくりが進んだ。しかし、地区内には街区公園の未整備のエリアが残っており、今後も引き続き、整備を進めていく必要がある。
- 土地区画整理事業や公共下水道事業、河川改修事業の一体的な整備により、安全で快適な生活環境が形成され、居住人口の増加が図られた。
- 街区公園の整備にあたっては、地域住民と協働でワークショップを開催し、公園整備に反映することができた。

（６）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
土地区画整理事業による都市基盤の整備・改善	今後も引き続き、鶴田第2土地区画整理事業により、公共施設の整備改善や宅地の利用増進を図り、計画的・効率的な土地利用を推進する。
浸水被害の解消	公共下水道事業と土地区画整理事業を一体的に施行し、生活排水の適正な処理を進めるとともに、雨水幹線の整備や河川の改修により、浸水被害を解消する。
狭隘道路の解消	鶴田第2土地区画整理事業により、地区内における狭隘道路の解消を進めていく。
災害に強い都市基盤の整備	地区内において、防災空間として機能する街区公園を適正に配置・整備していくことにより、地域の防災性を向上させ、災害に強い都市基盤の整備を進めていく。